

4. 活動報告

4.1 都市防災研究協議会（経済）

都市や産業集積地で発生する大規模災害によってもたらされる経済的な影響についてシナリオとして把握することにより、災害対応や復興施策の前提条件を明らかにするとともに民間部門におけるBCPなどで考慮すべき経済的な脆弱性について検討する。

4.1.1 第11回都市防災研究協議会（経済）

開催日時：平成28年9月15日（木）14:00～17:00

開催場所：関西大学東京センター

議事次第・発表者

- ① エーオン・ベンフィールド・ジャパン インベストメントバンキンググループ
マネージング・ダイレクター 山本伸二
「カタストロフ・ファイナンスの市場動向について」
- ② 九州大学大学院経済学研究院 准教授 宮崎 毅
関西大学社会安全学部 教授 永松伸吾
「南海トラフ巨大地震による地方自治体の財政需要の推計」
- ③ 全体討議

4.1.2 第12回都市防災研究協議会（経済）

開催日時：平成28年12月26日（月）13:30～15:30

開催場所：京都大学東京オフィス大会議室 B

議事次第・発表者

- ① 関西大学社会安全学部 教授 永松伸吾
「最終成果の取りまとめと政策提言について」
- ② 全体討議

4.2 都市防災研究協議会（政策）

阪神・淡路大震災や東日本大震災等を通じて、巨大災害に対する大都市の脆弱性の克服が重要な課題となっている。そこで、この課題解決に資するため、巨大災害対策法制のあり方について検討する。

4.2.1 第12回都市防災研究協議会（政策）

開催日時：平成28年6月13日（月）13:30～16:00

開催場所：京都大学東京オフィス大会議室 A

議事次第・発表者

- ① 東北大学大学院法学研究科公共政策大学院 副院長・教授 島田明夫
「大規模災害と被災者支援」
- ② 全体討議

4.2.2 第13回都市防災研究協議会（政策）

開催日時：平成28年10月31日（月） 13:30～16:00

開催場所：京都大学東京オフィス大会議室A

議事次第・発表者

- ① 金沢大学大学院法務研究科 准教授 稲葉実香
「大規模災害における人権保障」
- ② 全体討議

4.2.3 第14回都市防災研究協議会（政策）

開催日時：平成28年11月14日（月）13:30～16:00

開催場所：京都大学東京オフィス大会議室A

議事次第・発表者

- ① 早稲田大学政治経済学術院 教授 川岸令和
「大規模災害と情報」
- ② 全体討議

4.3 都市防災研究協議会（TIEMS）

巨大災害の災害対応では、行政だけでなく民間も含めて災害対応体制の標準化が行われていることが重要である。行政・民間を含めた防災担当職員の災害対応能力の向上を目指し、TIEMS日本支部と共同して、標準的な災害対応体制に関する情報共有のプラットフォームの構築について検討する。

4.3.1 第12回都市防災研究協議会（TIEMS）

開催日時：平成28年7月27日（水）13:00～17:10

開催場所：品川フロントビル会議室B

議事次第・発表者

- ① 京都大学 特任教授/防災科学技術研究所 理事長 林 春男
「熊本地震の検証 危機管理の予測・予防・対応」
- ② 東京大学地震研究所 教授・地震予知研究センター長 平田 直
「熊本地震は予測できたのか、今後の巨大地震にどう備える」
- ③ 静岡大学情報学部 講師 井ノ口宗成
「熊本地震における生活再建」
- ④ 名古屋工業大学大学院 教授 渡辺研司
「熊本地震 民間企業の対応」
- ⑤ 全体討議

4.3.2 第13回都市防災研究協議会（TIEMS）

開催日時：平成29年1月11日（水）13:00～17:10

開催場所：品川フロントビル会議室B

議事次第・発表者

- ① 東京電機大学 教授 佐々木良一
「IoT時代におけるサイバー攻撃のシナリオ」
- ② 名古屋工業大学大学院 教授 渡辺研司
「事業継続とサイバー攻撃 自然災害との対応の違い」
- ③ NTTセキュアプラットフォーム研究所 理事・主席研究員 前田裕二
「サイバー攻撃の予防と対応策 / 未然防止とCSIRTなど対応について」
- ④ 全体討議

4.4 全体ワークショップ

4.4.1 第9回全体ワークショップ

開催日時：平成28年8月8日（月）10:00～17:05 8月9日（火）10:00～16:00

開催場所：全国町村会館 ホールA

議事次第・発表者

平成28年8月8日（月）

10:00	開会 文部科学省あいさつ 文部科学省研究開発局地震・防災研究課長 谷 広太
10:05	都市減災ジオポータルの開発 防災科学技術研究所 鈴木進吾
10:20	広域版地震被害想定システムと防災情報のマッシュアップ 消防庁消防研究センター 細川直史
10:35	関西圏における次世代復興計画に関する研究 関西大学社会安全学部 越山健治
10:50	南海トラフ巨大地震時の中長期的な被災者分布に関する研究（震災時疎開の研究） 東京大学大学院工学系研究科 廣井 悠
11:05	このセッションに関する討論
11:35	休憩
13:00	熊本地震による供給系ライフラインの機能的被害と復旧について 岐阜大学工学部 能島暢呂
13:15	既往地震におけるライフライン施設・機能の被害・復旧データの分析： 上下水道システム及び橋梁（津波被害） 筑波大学システム情報系 庄司 学
13:30	交通系施設の被害・復旧評価手法の高度化： 津波による平面道路被害予測と広域物資拠点のアクセス性に関する検討 千葉大学大学院工学研究科 丸山喜久
13:45	巨大地震における上下水道施設の必要復旧人員の予測 -熊本地震における検証- 鹿島建設技術研究所 永田 茂
14:00	このセッションに関する討論
14:30	休憩

- 14:45 都市の脆弱性軽減のためのマイクロメディアサービスプロトタイプ版の開発
静岡大学情報学部 井ノ口宗成
- 15:00 マイクロメディアサービスにおけるマッシュアップ・双方向
インタラクション技術の開発
産業技術総合研究所 野田五十樹
- 15:15 このセッションに関する討論
- 15:35 大規模災害に耐え得る防災法制・体制の確立
関西大学社会安全学部 山崎栄一
- 15:50 政令指定市等大都市における災害対策法制の課題と対応
政策研究大学院大学 武田文男
- 16:05 危機管理システムの標準化を目指して ISO22320
京都大学防災研究所 牧 紀男
- 16:20 WebEOC に関する進捗報告
NTT セキュアプラットフォーム研究所 前田裕二
- 16:35 このセッションに関する討論
- 17:05 終了

平成 28 年 8 月 9 日 (火)

- 10:00 防災リテラシーハブの現状と今後
兵庫県立大学環境人間学部 木村玲欧
- 10:15 ICS 推進研究会の成果報告
防衛医科大学救急部兼防衛医学研究センター外傷研究部門 秋富慎司
- 10:30 生活再建支援システムに関する教育・訓練システムの開発
-各々のペースで学習ができるプログラム教材の開発・提案を目指して-
新潟大学危機管理室 田村圭子
- 10:45 生活再建支援業務マネジメント研修プログラムの開発
-共同運用ガイドラインの要件定義-
インターリスク総研総合企画部 堀江 啓
- 11:00 建物被害調査に関する教育・訓練システムの開発
常葉大学大学院環境防災研究科 田中 聡
- 11:15 このセッションに関する討論
- 11:45 休憩
- 13:00 中心市街地における効率的な災害対応能力向上手法に関する研究
-とりまとめに向けて-
工学院大学建築学部 久田嘉章
- 13:15 超高層ビルにおける地震後の建物被害情報収集と教育訓練システムの開発
鱒沢工学研究所 鱒沢 曜
- 13:30 防災担当職員向け教育・訓練システムの開発
-地域防災計画の立案・実施支援システム-
東京大学生産技術研究所 目黒公郎

- 13:45 防災担当職員向け教育・訓練システムの開発
-地域防災計画の立案・実施支援システム-
東京大学生産技術研究所 沼田宗純
- 14:00 このセクションに関する討論
- 14:30 休憩
- 14:45 総合討論
- 16:00 終了

4.4.2 第10回全体ワークショップ

開催日時：平成29年1月23日（月）14:00～16:30 1月24日（火）10:00～16:00

開催場所：神戸国際会議場 5F 501号室

議事次第・発表者

1月23日

- 14:00～14:10 開会挨拶
関西大学社会安全研究センター センター長・教授 河田恵昭
- 14:10～15:10 「国難」となる最悪の被災シナリオと減災対策
関西大学社会安全研究センター センター長・教授 河田恵昭
- 15:10～16:10 都市の脆弱性が引き起こす激甚災害の軽減化プロジェクト
「3. 都市災害における災害対応能力の向上方策に関する調査・研究」
京都大学防災研究所 特任教授 林 春男
- 16:10～16:30 質疑応答

1月24日

- 10:00～10:40 国難にそなえる～災害時要配慮者想定から見えた対策と課題～
新潟大学危機管理室 教授 田村圭子
- 10:40～11:20 都市減災ジオポータルの開発
防災科学技術研究所災害過程研究部門 主幹研究員 鈴木進吾
- 11:20～12:00 国難的状況下における家庭生活の継続に関する課題と解決へのヒント
東京大学生産技術研究所 教授 目黒公郎
- 13:00～13:40 マイクロメディアサービスの設計と開発
静岡大学情報学部 講師 井ノ口宗成
- 13:40～14:20 事前復興の意義と可能性－巨大複合災害を生き延びるために－
明治大学大学院政治経済学研究科 特任教授 中林一樹
- 14:20～15:00 防災リテラシーハブの開発
兵庫県立大学環境人間学部 准教授 木村玲欧
- 15:00～16:00
パネルディスカッション
モデレーター：関西大学社会安全研究センター センター長・教授 河田恵昭
パネリスト：話題提供者全員
- 16:00 閉会挨拶
京都大学防災研究所 特任教授 林 春男

4.5 成果発表会

4.5.1 最終成果発表会

日時：2017年2月27日(月) 10時～17時30分

場所：全国町村会館 ホール

主催：都市の脆弱性が引き起こす激甚災害の軽減化プロジェクト

「都市災害における災害対応能力の向上方策に関する調査・研究」チーム

次第・発表者

9:30 開場

総合司会：東京大学生産技術研究所 教授 目黒公郎

新潟大学危機管理室 教授 田村圭子

10:00-10:05 開会挨拶

文部科学省研究開発局地震・防災研究課 課長 谷 広太

10:05-10:15 都市災害における災害対応能力の向上方策に関する調査・研究の目指したもの
京都大学防災研究所 特任教授・防災科学技術研究所 理事長 林 春男

10:15-10:30 都市減災 GeoHub の構築

防災科学技術研究所 主幹研究員 鈴木進吾

10:30-10:45 広域版地震被害推定システムと防災情報のマッシュアップ

消防研究センター 研究企画部長 細川直史

10:45-11:00 南海トラフ巨大地震に備えた疎開計画に関する研究

東京大学大学院工学系研究科 准教授 廣井 悠

11:00-11:15 既往地震の教訓を踏まえたライフライン防災・減災について

岐阜大学工学部 教授 能島暢呂

11:15-11:30 都市減災 PJ により得られた道路と上下水道の物理的被害に関わる被害
関数－津波被害と液状化被害に焦点を当てて－

筑波大学システム情報系 准教授 庄司 学

11:30-11:45 地震および津波による道路ネットワークの機能損失評価

千葉大学大学院工学研究科 准教授 丸山喜久

11:45-12:00 大大特から都市災害 PJ における 15 年間のライフライン地震防災研究

鹿島技術研究所 上席研究員 永田 茂

13:00-13:15 ジオポータル・防災リテラシーハブと連携したマイクロメディアサービスの社会発信

静岡大学情報学部 講師 井ノ口宗成

13:15-13:30 マイクロメディアサービス活用基盤としての情報ボランティアコミュニティ
産業技術総合研究所人工知能研究センター 総括研究主幹 野田五十樹

13:30-14:45 大都市における巨大災害に対応可能な法制の実現に向けて

政策研究大学院大学 教授、防災・危機管理コースディレクター 武田文男

13:45 -14:00 大規模災害に耐え得る防災法制・体制の確立

関西大学社会安全学部 教授 山崎栄一

- 14:00 -14:15 標準的な危機対応体制の構築－日本の危機対応の事例分析から－
京都大学防災研究所 教授 牧 紀男
- 14:15 -14:30 南海トラフ巨大災害における復興財政規模の推計と代替的財源調達手段の提案
関西大学社会安全学部 教授 永松伸吾
- 14:30 -14:45 災害対応標準化からみたロジスティック能力の育成のための
トレーニングプログラムの課題と提案
防衛医科大学校救急部 准教授 秋富慎司
- 14:55-15:10 防災リテラシーハブによる防災知の生成と共有
兵庫県立大学環境人間学部 准教授 木村玲欧
- 15:10-15:25 中心市街地における効果的な災害対応能力向上のための
教育・訓練システムの開発
工学院大学建築学部 教授 久田嘉章
- 15:25-15:40 建物被害調査に関する教育・訓練システムの開発
常葉大学大学院環境防災研究科 教授 田中 聡
- 15:40-15:55 建物被害調査に関する教育・訓練システムの開発
～超高層建物における建物被害調査手法と教育・訓練システムの検討～
鱒沢工学研究所 代表 鱒沢 曜
- 15:55-16:10 生活再建支援業務マネジメント研修プログラムの開発
～e-learning コンテンツの開発～
株式会社インターリスク総研 主席研究員 堀江 啓
- 16:10-16:25 生活再建支援業務マネジメント研修プログラムの開発
～研修プログラムを活用した社会実装～
新潟大学危機管理室 教授 田村圭子
- 16:25-16:55 効果的な地域防災計画とアクションプランの立案・実施を支援する
システムの構築
東京大学生産技術研究所 教授 目黒公郎
東京大学生産技術研究所 講師 沼田宗純
- 17:00-17:30 総合討論：ポスト都市災害の研究
コーディネーター：林 春男
討論者：発表者全員
- 17:30 終了

4.6 サブプロ間連携

4.6.1 サブプロ1との連携

サブプロ①運営委員会等にサブプロ③からも委員として参加し、理学・工学・社会科学の連携・接点を議論している。特にサブプロ①における「地震動・地震応答の大規模数値解析法」「その結果の先端可視化技術の開発」等に関して、サブプロ③の「ジオポータル開発」「防災リテラシーハブの研修・訓練プログラム」との連携可能性を模索し、担当者間の研究協力を進めた。

4.6.1.1 第6回研究運営委員会

開催日時：平成28年8月31日（水）13:30～17:30

開催場所：東京大学地震研究所1号館3階 会議室

議事次第

- ① 南関東の地震像の解明
- ② 観測に基づく都市の地震被害調査技術の開発
- ③ サブプロジェクト①の管理・運営
- ④ 統括委員会によるプロジェクト全体の運営
- ⑤ サブプロジェクト間の連携について

4.6.1.2 第6回研究運営委員会

開催日時：平成29年2月28日（火）13:30～17:30

開催場所：東京大学地震研究所1号館3階 会議室

議事次第

- ① 南関東の地震像の解明
- ② 観測に基づく都市の地震被害調査技術の開発
- ③ サブプロジェクト①の管理・運営
- ④ 統括委員会によるプロジェクト全体の運営
- ⑤ サブプロジェクト間の連携について

4.6.2 サブプロ2との連携

都市の集合住宅などの大規模な非木造建物が被災した際の、建物被害調査の方法について、センサーからの損傷程度の評価結果と目視による建物内部の被害調査結果を統合して、建物の安全性や使用継続性など建物被災度の評価方法について検討した。

4.6.2.1 第20回研究運営委員会

開催日時：平成28年6月1日（水）14:00～17:00

開催場所：建築会館 308 会議室

議事

- ① 前回議事録の確認
- ② 今年度の業務計画
- ③ 分科会報告
- ④ 昨年度報告書作成状況と今年度のスケジュール
- ⑤ 研究成果の社会還元方策
- ⑥ その他（今後の日程等）

4.6.2.2 第21回研究運営委員会

開催日時：平成28年8月5日（金）14:00～17:00

開催場所：建築会館 308 会議室

議事

- ① 前回議事録の確認
- ② 分科会報告
- ③ 研究成果の社会還元方策
- ④ その他（今後の日程等）

4.6.2.3 第9回研究監視委員会

開催日時：平成28年8月5日（金）17:00～19:00

開催場所：建築会館 301+302 会議室

議事

- ① 前回議事録確認と昨年度のまとめ
- ② 今年度研究計画およびプロジェクトの最終成果について
- ③ 研究成果の社会還元方策について
- ④ その他

4.6.2.4 第22回研究運営委員会

開催日時：平成28年11月30日（水）14:00～17:00

開催場所：建築会館

議事

- ① 前回議事録の確認
- ② 分科会報告
- ③ E-ディフェンス実験における作業
- ④ E-ディフェンス振動台実験の公開に関して
- ⑤ その他（今後の日程等）

4.6.2.5 第23回研究運営委員会

開催日時：平成29年3月8日（水）14:00～17:00

開催場所：建築会館 308 会議室

議事

- ① 前回議事録の確認
- ② 分科会報告
- ③ 成果展開の実績と予定
- ④ その他

4.7 対外発表

4.7.1 成果の論文発表・口頭発表等

発表成果、掲載論文	発表者氏名	発表場所	発表時期	国際・国内の別
Development of Earthquake Disaster Simulation System Combining Distributed Web GIS Services for the Better Understanding of Disaster Scenarios (口頭)	Shingo Suzuki	4th International Conference on Urban Disaster Reduction	2016年10月17	国際
都市減災ジオポータルの開発とその利活用 (口頭)	鈴木進吾	日本地球惑星科学連合大会	2016年5月23日	国内
大震災への応急対応を支援する被害推定システムについて	細川直史	REAJ誌(日本信頼性学会誌), Vol. 38, No.5 (通巻 231号)	2016年9月	国内
Development of the Wide-area Earthquake Damage Estimation System and Mashup of Disaster Prevention Information	Masafumi HOSOKAWA, Ken-ich TAKANASHI, Syouji DOSHIDA, Makoto ENDO, Byeong-pyo JEONG	Research Journal of Disaster Research, Vol. 12 No. 1	2017年2月1日	国際
Housing Recovery Process of the Great Disaster in Japan (口頭)	越山健治	Auckland, New Zealand 4th International Conference on Urban Disaster Reduction	2016年10月	国際
広域ライフラインの地震リスク評価のためのシナリオ地震選定 (口頭)	加古涼介、能島暢呂	第71回土木学会年次学術講演会, 仙台市	2016年9月	国内
Assessment of Tsunami Inundation Exposure of Energy-related Base Facilities Caused by Anticipated Nankai Megathrust Earthquakes (口頭)	Nojima, N. and Kato, H.	The Seventh China-Japan-US Trilateral Symposium on Lifeline Earthquake Engineering, Shanghai, China	2016年6月	国際
Modeling Post-Earthquake Serviceability of Railway Systems Based on the Database of the Great East Japan Earthquake Disaster (ポスター)	Nojima, N. and Kato, H.	The 16th World Conference on Earthquake Engineering, Santiago, Chili	2017年1月	国際
Functional Damage to Utility Lifelines and Their Restoration Processes in the 2016 Kumamoto Earthquake, Japan (口頭)	Maruyama, Y. and Nojima, N.	The 16th World Conference on Earthquake Engineering, Santiago, Chili	2017年1月	国際
Functional Damage and Restoration Processes Of Utility Lifelines in the 2016 Kumamoto Earthquake in Comparative Perspective (口頭)	Nojima, N. and Maruyama, Y.	The 16th World Conference on Earthquake Engineering, Santiago, Chili	2017年1月	国際
広域ライフラインを対象とした地震被害復旧シミュレーション手法 (口頭)	Le Quang Duc、能島暢呂、加藤宏紀	第36回地震工学研究発表会, 金沢	2016年11月	国内
地震による高速道路復旧時間の予測手法の改善 (口頭)	五十嵐翼、丸山喜久	第7回インフラ・ライフライン減災対策シンポジウム, 熊本大学	2016年12月	国内
Damage ratios of ground level roads after the 2011 off the Pacific coast of Tohoku earthquake tsunami (口頭)	Itagaki, O. and Maruyama, Y.	The 6th Asia Conference on Earthquake Engineering	2016年9月	国際
下水道埋設管路網の液状化	原昌弘、庄司学	土木学会第71回年次	2016年9月	国内

発表成果、掲載論文	発表者氏名	発表場所	発表時期	国際・国内の別
被害と入力地震動の関係(口頭)		学術講演会、仙台市		
Seismic Waveforms at Engineering Bedrocks beneath Lifelines Suffered by Liquefaction in the 2011 Off the Pacific Coast of Tohoku Earthquake (口頭)	Hara, M., Shoji, G. and Terajima, R.	The 16th World Conference on Earthquake Engineering, Santiago, Chile	2017年1月	国際
南海トラフ巨大地震津波に曝露される道路ネットワークの津波被害推計(口頭)	水越湧太、庄司学	土木学会第71回年次学術講演会、仙台市	2016年9月	国内
平成28年熊本地震を対象とした上水道管路被害予測精度に関する検討(口頭)	永田茂	第7回インフラ・ライフライン減災対策シンポジウム、熊本大学	2016年12月	国内
平成28年熊本地震における熊本市の上水道管路施設の被害概要(口頭)	丸山喜久、永田茂	第7回インフラ・ライフライン減災対策シンポジウム、熊本大学	2016年12月	国内
An Overview of Functional Damage and Restoration Processes of Utility Lifelines in the 2016 Kumamoto Earthquake, Japan	Nojima, N. and Maruyama, Y.	JSCE Journal of Disaster FactSheets, 2016, FS2016-L-0004, 12p.	2016年7月	国際
Comparison of Functional Damage and Restoration Processes of Utility Lifelines in the 2016 Kumamoto Earthquake, Japan with Two Great Earthquake Disasters in 1995 and 2011	Nojima, N. and Maruyama, Y.	JSCE Journal of Disaster FactSheets, 2016, FS2016-L-0005, 9p.	2016年8月	国際
Exposure of Population and Energy-related Base Facilities to Shaking Intensity Predicted for the Nankai Megathrust Earthquakes	Nojima, N. and Kato, H.	Journal of Disaster Research, Vol.12 No.1	2017年2月1日	国際
Development of Tsunami Fragility Functions for Ground-Level Roads	Maruyama, Y. and Itagaki, O.	Journal of Disaster Research, Vol.12 No.1	2017年2月1日	国際
ハザード情報と地形情報を含めたインタラクティブな津波避難経路選定支援ツールの開発(口頭)	井ノ口 宗成	日本地球惑星科学連合2016年大会	2016年5月	国内
気象庁の公開情報を活用した気象状況認識支援ツールのプロトタイプ開発	井ノ口 宗成	電子情報通信学会 信学技報, vol. 116, no. 250, ICTSSL 2016-20, pp. 1-6	2016年10月	国内
QRコード付きIDカードを活用した避難者行動把握の可能性～御前崎市避難所運営訓練を事例として～	井ノ口 宗成	電子情報通信学会, 信学技報, vol. 116, no. 422, ICTSSL 2016-59, pp. 133-138	2017年1月	国内
複合災害を想定したクラウド版避難経路決定支援シナリオの実装	関川貴大, 井ノ口宗成, 中野敬介	電子情報通信学会, 信学技報, vol. 116, no. 422, ICTSSL 2016-62, pp. 151-155	2017年1月	国内
Developing a Web-Based Supporting Application for Individual Evacuation Plans Through Hazard Risk and Geographical Analyses	Munenari Inoguchi, Takahiro Sekikawa, Keiko Tamura	Journal of Disaster Research, Vol.12 No.1 pp. 6-16	2017年2月1日	国際
御前崎市 IDカードを使った避難者管理訓練	井ノ口 宗成	NHK 静岡ニュース	2016年9月24日	国内
避難者の現状 アプリで管理 御前崎のNPOが訓練	井ノ口 宗成	静岡新聞	2016年9月25日	国内
QRコード使った避難所運営	井ノ口 宗成	静岡第一テレビ	2016年10月1日	国内

発表成果、掲載論文	発表者氏名	発表場所	発表時期	国際・国内の別
		地震・防災チェック～わが家と家族を守るために～		
大都市等における災害対策法制の課題（口頭）	武田文男	都市の脆弱性が引き起こす激甚災害の軽減化プロジェクト都市減災サブプロジェクト第9回全体ワークショップ	2016年8月8日	国内
災害対策標準化に関する意見について（口頭）	武田文男	中央防災会議防災対策実行会議災害対策標準化推進ワーキンググループ 内閣府	2016年12月15日	国内
日本における災害への対応（口頭）	武田文男	日韓国際学術会議（韓国現代日本学会冬季学術大会）	2016年12月17日	国際
行政法学・震災法制の視点から（口頭）	山崎栄一	2016年度日本法社会学会学術大会 立命館大学	2016年5月28日	国内
政令指定都市における防災・危機管理対策に関する比較研究	武田文男, 竹内潔、水山高久、池谷浩	政策研究大学院大学学術機関リポジトリ（ディスカッション・ペーパー16-04）	2016年6月24日	国内
自治体における改正災害対策基本法の実務的課題に関する研究	武田文男, 竹内潔、水山高久、池谷浩	政策研究大学院大学学術機関リポジトリ（ディスカッション・ペーパー16-05）	2016年6月24日	国内
巨大災害に対する法制の見直しに関する課題についての研究	武田文男, 竹内潔、水山高久、池谷浩	政策研究大学院大学学術機関リポジトリ（ディスカッション・ペーパー16-06）	2016年6月24日	国内
災害時における個人情報活用の利活用	山崎栄一	自治体法務研究 No. 47 16～21頁	2016年11月	国内
自然災害と国家緊急権	山崎栄一	『憲法の理論のその展開一浦部法穂先生古稀記念』信山社（予定）全22頁	刊行予定	国内
People Who Cannot Move During a Disaster - Initiatives and Examples in Japan Disaster Victim Support	Eiichi Yamasaki, Haruo Hayashi	Journal of Disaster Research Vol.12 No.1 pp.137-146	2017年2月1日	国際
被災者台帳の導入を個別の被害状況把握 関学大研提言 / 兵庫県	山崎栄一	朝日新聞（朝刊）	2016年5月17日	国内
物資集積拠点、備え必須 被災22市町村、半数以上が未選定	山崎栄一	朝日新聞（朝刊）	2016年5月18日	国内
大都市圏で想定される地震被害と対策上の課題	牧紀男	都市問題	2016年9月	国内
熊本地震の検証～「危機管理の予測・予防・対応」という観点から振り返る～	牧紀男	リスク対策.COM	2016年9月25日	国内
Estimating local fiscal revenues and needs for the Nankai Trough Earthquake（ポスター）	宮崎毅・永松伸吾	4th International Conference on Urban Disaster Reduction (4ICUDR)	2016年10月17日	国際
Targetting the vulnerable people in Social Safety Net in disasters: lessons of CFW program in 2011 disasters in Japan（口頭）	永松伸吾	4th International Conference on Urban Disaster Reduction (4ICUDR)	2016年10月17日	国際
防災リテラシーを向上させるための「防災リテラシーハブ」の開発（口頭）	木村玲欧・林春男・小林皓介・西野隆博・卜部兼慎・井上聡	日本地球惑星科学連合2016年大会	2016年5月	国内

発表成果、掲載論文	発表者氏名	発表場所	発表時期	国際・国内の別
Development of “Disaster management Literacy Hub” for Collecting, Creating and Transmitting Disaster Management Contents to Increase Disaster Management Literacy	KIMURA, R., HAYASHI, H., KOBAYASHI, K., URABE, K., INOUE, S. and NISHINO, T.	Journal of Disaster Research、 Vol.12, No.1	2017年2月1日	国際
Proposing a multi-hazard approach to disaster management education to enhance children’s “zest for life” : development of disaster management education programs to be practiced by teachers	NAGATA, T. and KIMURA, R.	Journal of Disaster Research、 Vol.12, No,1	2017年2月1日	国際
首都圏で想定される地震被害とレジリエントな対策(口頭)	久田嘉章	工学院大学 (社会貢献学会第7回大会シンポジウム)	2016年12月10日	国内
大学を地域防災拠点とした防災・減災の取組-「ことづくり」を通じた「ひとづくり」-(口頭)	村上正浩	工学院大学 (社会貢献学会第7回大会シンポジウム)	2016年12月10日	国内
新宿ルール実践のための行動指針の効果検証に関する研究(口頭)	柳田悠太郎、村上正浩	工学院大学 (社会貢献学会第7回大会)	2016年12月10日	国内
国別研修トルコ「リスク評価に基づく効果的な災害リスク管理のための能力開発プロジェクト」新宿駅周辺防災対策協議会の活動と都市再生安全確保計画の実施について(口頭)	村上正浩	JICA 東京	2016年12月9日	国内
レジリエンスな社会構築のための被害低減策と対応力向上策の現状と事例報告(口頭)	久田嘉章	土木学会講堂 (土木学会安全問題討論会’16)	2016年11月30日	国内
新宿駅周辺地域における大震災時の多数傷病者に関する地域連携による対応力向上の取組み(口頭)	久田嘉章	一橋講堂(災害医療フォーラム in Tokyo)	2016年11月20日	国内
熊本地震の教訓からみる首都直下地震等への備え-イベントロダクション-(口頭)	久田嘉章	東京ビックサイト(危機管理産業展2016)	2016年10月19日	国内
超高層ビルにおける地震後の建物被害情報収集に関する研究 その1:自衛消防組織を活用した手法の改善(口頭)	鱒沢曜、本橋直之、田中聡、水越熏、中嶋洋介、久田嘉章、宮村正光、諏訪仁	福岡大学(日本建築学会2016年度大会)	2016年8月	国内
超高層ビルにおける地震後の建物被害情報収集に関する研究 その2:自衛消防訓練による検証(口頭)	本橋直之、鱒沢曜、田中聡、水越熏、中嶋洋介、久田嘉章、宮村正光、諏訪仁	福岡大学(日本建築学会2016年度大会)	2016年8月	国内
超高層ビルにおける地震後の建物被害情報収集に関する研究 その3:携帯情報端末を活用した情報収集(口頭)	田中聡、鱒沢曜、本橋直之、水越熏、中嶋洋介、久田嘉章	福岡大学(日本建築学会2016年度大会)	2016年8月	国内
超高層ビルにおける地震後の建物被害情報収集に関する研究 その4:SNSを活用した情報収集(口頭)	寺本彩乃、鱒沢曜、田中聡、水越熏、中嶋洋介、久田嘉章	福岡大学(日本建築学会2016年度大会)	2016年8月	国内
中心市街地における効率的な災害対応能力向上手法に関する研究-とりまとめに向けて-(口頭)	久田嘉章、村上正浩、鱒沢曜、新藤淳	全国町村会館 (都市減災プロジェクト・第9回全体WS)	2016年8月9日	国内

発表成果、掲載論文	発表者氏名	発表場所	発表時期	国際・国内の別
震災等による都市型複合災害の現状と課題（口頭）	久田嘉章	東京電機大学・北千住キャンパス（日本地震工学会 会長特別研究委員会）	2016年6月1日	国内
新宿駅周辺エリアの取り組み事例（口頭）	村上正浩	東京電機大学・北千住キャンパス（日本地震工学会 会長特別研究委員会）	2016年6月1日	国内
K-NET強震観測情報等を活用した巨大都市・中心市街地における災害対応力向上の取り組み（口頭）	久田嘉章	幕張メッセ（日本地球惑星科学連合）	2016年5月23日	国内
モニタリングとオールハザード対応による総合的な防災対策（口頭）	久田嘉章	東京工業大学大岡山キャンパス（第62回構造工学シンポジウム）	2016年4月23日	国内
広域的な総合防災対策-新宿駅周辺防災対策協議会の取組事例-	村上正浩	予防時報, vol. 265 pp. 8-11	2016年4月	国内
第5回 数千年に一度の最大級地震に対する建物の対策（その1：多様性ある地震と建物の安全対策）	久田嘉章	NHK そなえる防災	2016年11月30日	国内
第4回 建物と人の生活を守る震災対策（その3：2016年熊本地震の教訓と対策例）	久田嘉章	NHK そなえる防災	2016年6月30日	国内
複数被災地における被災者台帳システムの同時運用にかかる課題-平成28年熊本地震を事例として-	井ノ口宗成・田村圭子	2016年ソサイエティ大会 安全・安心な生活とICT研究会	2016年9月	国内
住宅被害調査の公平性	田村圭子	熊本日新聞 23面	2016年9月5日	国内
支援漏れ解消の切り札に被災者台帳導入へ	取材対象：生活再建支援連携体	西日本新聞	2016年5月1日	国内
被災者台帳15市町村が導入	取材対象：生活再建支援連携体	NHK ニュース	2016年5月8日	国内
被災者台帳15市町村導入支援漏れを防止	取材対象：生活再建支援連携体	毎日新聞	2016年5月17日	国内
台帳活用「取り残さない」	田村圭子	熊本日新聞 1面	2017年1月24日	国内
2011年東日本大震災・2015年関東・東北豪雨・2016年熊本地震の災害対応の分析に基づく災害対応業務のモデル化（口頭）	沼田宗純・井上雅志・目黒公郎	第36回地震工学研究発表会, A12-964, 金沢, 金沢歌劇場	2016年10月17日	国内
2016年熊本地震における西原村の災害対応と教訓（口頭）	井上雅志・大西修平・高津諭・沼田宗純・目黒公郎	JAEE 日本地震工学会・年次大会-2016, 01-7, 高知工科大学	2016年9月27日	国内
2011年東日本大震災と2016年熊本地震における行政の初動対応の基礎的分析（ポスター）	沼田宗純・目黒公郎・井上雅志	JAEE 日本地震工学会・年次大会-2016, P2-22, 高知工科大学	2016年9月26日	国内
2016年熊本地震におけるブッシュ型物資支援の考察とコンテナを用いた緊急支援物資の提案（口頭）	沼田宗純・目黒公郎・井上雅志	土木学会 第7回 インフラ・ライフライン減災対策シンポジウム, セッション2, 熊本大学	2016年12月5日	国内
Disaster Response Modelling based on the Analysis of the past Disasters for Municipality（口頭）	Muneyoshi NUMADA, Masashi INOUE, and Kimiro MEGURO	15th International Symposium on New Technologies for Mega Cities in Asia, No. E_62, Tacloban City, Philippines	2016年11月8日	国際
Development of the Comprehensive Disaster Management Matrix for Efficient Measure	M. INOUE, M. NUMADA and K. MEGURO	15th International Symposium on New Technologies for Mega Cities in Asia,	2016年11月7日	国際

発表成果、掲載論文	発表者氏名	発表場所	発表時期	国際・国内の別
Planning (口頭)		No. E_40, Tacloban City, Philippines		
Knowledge based IT evacuation facility management system "COCOA"	Satoshi TAKATSU, Muneyoshi NUMADA, Kimiro MEGURO	16th World Conference on Earthquake Engineering, No. 1558, 12 pages.	2017年1月	国際
Development of the knowledge-based disaster management system "BOSS" for Japanese standard system	Muneyoshi NUMADA, Kimiro MEGURO	16th World Conference on Earthquake Engineering, No. 1602, 9 pages.	2017年1月	国際
Development of a web-based management system for disaster management plan/manual	Muneyoshi NUMADA, Kimiro MEGURO	16th World Conference on Earthquake Engineering, No. 2852, 10 pages.	2017年1月	国際
Building Resilience to International CBRN Events	H. Hayashi, Lauren Alexander Augustine, Ann Lesperance, John Holmes, Masahiko Hamada	41st Annual Natural Hazards Research and Applications Workshop	平成28年7月11日	国際
Efficiency Evaluation of Standard Operating Procedures in a Disaster Information System	Tomohiro Kokogawa, Yuji Maeda, Fumiaki Ichinose, Masahiro Sugiyama, Tomomi Yamamoto, and Haruo Hayashi	Journal of Disaster Research, Vol.12, No.1, pp57-pp66	2017年2月1日	国際
Disaster Information System Using Natural Language Processing	Naoko Kosaka, Akira Koyama, Tomohiro Kokogawa, Yuji Maeda, Hiroko Koumoto, Shingo Suzuki, Kenshi Yamaguchi, and Kentaro Inui	Journal of Disaster Research, Vol.12, No.1, pp67-pp78	2017年2月1日	国際
Damage Assessment of Road Bridges Subjected to the 2011 Tohoku Pacific Earthquake Tsunami	Gaku Shoji and Tomoharu Nakamura	Journal of Disaster Research, Vol.12, No.1, pp79-pp89	2017年2月1日	国際
Verification of Information Sharing System on Shelter, COCOA, at Comprehensive Disaster Drill in Ishinomaki City	Muneyoshi Numada, Satoshi Takatsu, Yasuhide Yamauchi, Kimiro Meguro, and Tetsuo Ito	Journal of Disaster Research, Vol.12, No.1, pp90-pp105	2017年2月1日	国際

4.7.2 特許出願, ソフトウェア開発, 仕様・標準等の策定等

4.7.2.1 特許出願

なし

4.7.2.2 ソフトウェア開発

名称	機能
広域版地震被害想定システム	地震発生直後の応急対応時期に、地震情報に基づき建物被害数や死者数の推定を行うことが可能な地震被害想定システム
建物被害調査 iPhone 版	携帯端末を活用した被害図面と被害写真の統合的管理、および被害評価計算の自動化

4.7.2.3 仕様・標準等の策定

なし